

藤枝市教育委員会

令和元年12月定例会会議録

藤枝市教育委員会 令和元年12月定例会会議録

- 1 開催日 令和元年12月25日
- 2 場所 藤枝市役所西館3階 302会議室
- 3 会議に附した事項 (別紙のとおり)
- 4 出席委員
教育長 中村 禎
教育長職務代理者 増田 貴司 委員 浅井 好美
委員 山田 美穂子 委員 牧田 伸明
- 5 欠席委員
- 6 出席した事務局職員
教育部長 片山 豊実 教育政策課長 杉原 一行
学校教育監 小林 彰 主席指導主事 三須 貞佳
学校給食課長 平澤 孝之 生涯学習課課長 小川 聡
図書課長 杉本 守
総務係長 小澤 峰樹 書記 岩井 美和

教育委員会 令和元年12月定例会

日 時 令和元年12月25日 午前10時
場 所 市役所西館3階 302会議室

1 開 会 午前10時00分

2 会議録署名委員氏名 山田美穂子委員、牧田伸明委員

3 日程第1

第34号議案 藤枝市立小・中学校通学区域の調査審議について

4 日程第2 諸般の報告

教育部長	1 11月市議会定例会質疑応答要旨
教育政策課長	1 藤枝市立小中学校防犯カメラ装置の運用基準について 1 ふじえだロボットアカデミー ロボコン対策集中講座 1 「創造アイデアロボットコンテスト」に出場しました 1 ～親子で一緒に～ Pepper 1 day プログラミング講座を開催します
主席指導主事	1 令和2年度小中学校入学式等の日程について
生涯学習課長	1 人づくり講演会を開催します『目標達成へのプロセス』 1 令和元年度藤枝市子ども会活動発表会を開催します

5 開 会 午前11時00分

教育委員会 令和元年12月定例会

日 時 令和元年12月25日 午前10時
場 所 市役所西館3階 302会議室

開 会

午前10時00分

教育長

ただいまから藤枝市教育委員会12月定例会を開会します。
それでは会議録署名委員を指名します。会議録署名委員に、山田美穂子委員、
牧田伸明委員を指名します。

日程第1

教育長

これより日程第1に入ります。第34号議案「藤枝市立小・中学校通学区域の調査審議について」を議題といたします。それでは事務局より説明をお願いします

主席指導主事

【第34号議案 藤枝市立小・中学校通学区域の調査審議について】

●令和2年度の新たな特別支援学級開設に伴う特別支援学級の通学区域の見直し及び町内会と通学区域の協会の齟齬に伴う通学区域の見直しに関する事項について調査審議が必要となったため、藤枝市立小・中学校通学区域審議会条例第2条の規定により、教育委員会より審議会に諮問したため、提案する

・特別支援学級学区規定等の見直しについて

令和2年度4月1日より、西益津小学校、広幡小学校、広幡中学校に特別支援学級（知的）を新設する。その通学区域は、それぞれの学校の通常学級の通学区域としたい。

・本町1丁目7番28号（長楽寺2町内会）の通学区域の見直しについて

住所から判断する学区は、西益津小・西益津中学校であるが、町内会は藤枝地区である「長楽寺1」に加入していることから、学区についても藤枝小・藤枝中学区としたい。

・田沼1丁目15番地内（田沼北町内会）の通学区域の見直しについて

ホテルスーパー泊がオープンし、田沼1丁目15番地内に民家を買収して駐車場を整備したことに伴い、従来の学区の境界と異なる形状の土地となった。田沼1丁目15番11号を青島東小学区とし、駐車場となっている土地全体を青島東小・青島中学区としたい。

・駅前1丁目8番3号（駅前第1町内会、日の出町町内会）の通学区域の見直しについて

従来の学区の境界を跨ぐ形で「FUJIEDA mikine」が誕生したことに伴い、学区の境界の見直しが必要となった。駅前1丁目8番3号(「FUJIEDA mikine」)は、現在「日の出町」町内会に所属しているため、学区の境界を町内会の境界にそろえ、駅前1丁目8番3号を青島東小・青島中学区としたい。

教育長 ではこれより質疑に入ります。質疑はありませんか。

浅井委員 支援学級設置の考え方の中の一文で、「学級として成立すること」という文があります。私の知識が間違っているのかもしれませんが、学級というのは、以前は4名で成立するとあったのですが、現在は2名で成立する、複数いれば成立すると考えれば良いのでしょうか。

学校教育監 解釈についてですが、これまでもずっとこの文言できており、1人いれば学級は成立できるという考え方を持っています。しかし、複数人いることが人間関係を作る上で大切なため、できるだけ複数いるということを中心に考えてきましたが、基本的には1人いれば学級は成立できます。今回はいずれの学校も、新設の学級の児童生徒は2人ということでしたので、複数になりました。

教育長 その他質疑はありませんか。

一同 『ありません』

教育長 以上で質疑を終結いたします。これより討論に入ります。討論はありませんか。

一同 『ありません』

教育長 以上で討論を終結いたします。

これより第34号議案「藤枝市立小・中学校通学区域の調査審議について」を採決いたします。本案を原案の通り可決することにご異議ありませんか。

一同 『異議なし』

教育長 異議なしと認め、本案は原案の通り可決されました。

日程第2 諸般の報告

教育長 これより日程第2、諸般の報告について、教育部長から順にお願いします。

教育部長 令和元年11月市議会定例会において、各議員より教育に関する質問がありましたので、質疑の要旨について説明いたします。

■岡村 好男 議員

市政3期12年の総括と今後の市政経営について

医療・教育・健康福祉の分野での代表的な事業実績と評価について

教育の面では、これからの社会に主体的に向き合い、活躍できる人材を育

成するため、英語、そしてICT教育が重要であると考え、全小中学校へのALTの増員配置やICT機器、ロボットの導入により本市独自の特化した教育を実施してきた。加えて、瀬戸谷地区をモデル地区に「小中一貫教育」を開始し、地域総ぐるみで子どもの育ちを支援する「学びの環境づくり」を進めている。市民の皆様が希望を抱いて日々健やかに暮らせるまちづくりが、一歩ずつ進んでいるものと考えているという答弁を市長からしております。

小中一貫教育について、これから進めるマンモス校については、地域住民に対して丁寧な説明が必要だと考えるがいかがか伺う。

本市の小中一貫教育は、9年間で目指す子ども像を、家庭・地域・学校などが共有して、地域の特色を活かしながら、地域総ぐるみで子どもの育ちを支援していくものです。

小中一貫教育の導入にあたっては、地域の皆様にご理解ご支援いただくための周知が何よりも重要だと認識しておりますので、規模の大きな学校もあり、地域も広範囲になることから、地域の皆様への理解が図れるよう、「小中一貫教育だより」を配布したり、地元の会合などにおいて個別に説明に伺うなどして、丁寧な説明に努めていくという答弁をしました。

本年度及び来年度において、医療的ケアを必要とする児童生徒数について

本年度は対象の児童生徒はおりませんが、来年度については、3名の就学予定の児童が対象となりますという答弁をしました。

医療的ケアを必要とする児童生徒に対する支援の現状について

これまでは、痰の吸引や胃ろうなど、医療的ケアを必要とする児童生徒が在籍していたこともありましたが、教員の医療行為は法令上禁じられているため、当時は保護者の協力を得ながら対応してきた。

医療的ケアを必要とする児童生徒への支援及び保護者の負担軽減のための対策について

市長から、医療的ケアが必要な児童生徒が全国的にも増えているが、看護師等の専門職の配置ができない学校が多い状況の中で、保護者が、常時、学校に待機し、痰の吸引をするなど、大変なご負担とご苦勞をしていることに常々心を痛めていた。本市においても、来年度、医療的ケアが必要な児童が新たに就学する予定のため、医療的ケアができる看護師等を就学予定の学校に配置し、児童生徒が安全で安心して学べる環境の整備と保護者の負担軽減を図るという答弁をさせていただいております。

この支援制度は学校と保護者の連携協力と相互理解が必要不可欠だが、学校としての留意点について伺う。

医療的ケアの必要な児童生徒が、安全で安心して学校生活を送れるようにするために、校内の支援体制を構築していく必要がある。

そのために、医療的ケア実施マニュアルを作成し、保護者と十分に連絡を取りながら支援を行い、該当の児童生徒の理解のために、全職員で情報共有を図っていく。また、周りの児童生徒の理解や協力も必要となるため、市で推

進んでいるピアサポート活動を中心に教育活動全体を通して、児童生徒が思いやりを持ち、互いを尊重し、共に助け合いながら生活する態度を育むことで、医療的ケアが必要な児童生徒を皆で支えていく体制を整備していきたいという答弁をしております。

■山本 信行 議員

大規模災害準備について

小中学校の危険箇所の調査、改修について

学校や教育委員会では、児童生徒が安全安心な学校生活を送れるよう、日常的に学校の施設・設備を点検し、危険箇所の改善に努めている。

体育館やグラウンドなどは、市民への施設開放や災害時の指定避難場所としての利用など、多様な役割を担っているため、より幅広い視点からの安全性が求められる。

先の台風19号により指定避難場所として利用された学校において、避難された市民が敷地内の段差で転倒するという事案を踏まえ、改めて、多様な活用を想定し、再度点検を行い、学校施設の安全の確保に、引き続き取り組んでいくという答弁をしております。

実際に指定避難場所として利用された学校では、体育館に通じる通路に隣接した、給食車両用スロープの段差で、避難者が転倒したようだが、これについての具体的な対策はどのように考えているか。

「スロープ側壁の天端を着色し、目立つようにするとともに、センサーライトを設置して、夜間には足元を照らす等の対策を講じている。

その他の学校についても、まずは改めて施設の再点検を行い、特に、スロープについては、夜間においても段差が確認できるよう、現場の状況に応じた対策を講じる。」という答弁をしています。

■天野 正孝 議員

市民と協働の福祉のまちづくりについて

環境・健康・教育のコミュニティづくりや活動支援をどう展開していくかについて

本市が元気で明るく希望が持てるまちであるためには、地域コミュニティと地域を越えた市民の自発的な活動の活性化を同時に進めることが大切であると考えている。教育におけるコミュニティは、これまで、地域ぐるみで子どもを育てる体制の一つとして、「学校サポーターズクラブ」事業を進め、地域住民の参画により学校経営を展開してきた。さらに、平成29年度からは、「小中一貫教育」と「コミュニティ・スクール化」に取り組み、学校、家庭、地域が協働して「地域とともにある学校づくり」を推進している。これにより、地域子どもたちを中心に、大人も学び合う基盤が構築され、地域コミュニティのさらなる活性化につながるという答弁をしております。

教育についても自治会・町内会役員が兼任している地域も多くみられると聞いているが、この点も独自の組織化を促す活動が必要ではないか再度伺う。教育委員会で中学校区ごとに進めていますコミュニティ・スクールは、保護者や地域の方々に学校運営に参画していただく制度で、本年度より3地区で

開始した。コミュニティ・スクールは、地域を代表する方々にも参画いただく必要があるため、この制度が定着される間は、地域の実情を把握している自治会・町内会の役員の方々にご協力いただきたいと考えているという答弁をしております。

1 藤枝市立小中学校防犯カメラ装置の運用基準について

- 昨年度、高洲南小学校において、帰宅中の児童が襲撃された事件を受け全小中学校に防犯カメラ装置を設置し、活用していますが、「個人情報保護に関する法律」及び「藤枝市個人情報保護条例」に基づいた適正な運用のもと、児童生徒の安全安心な学校生活の確保を図るため、『藤枝市立小中学校防犯カメラ装置の設置及び運用に関する基準』を策定しました。

防犯カメラ装置の設置

- ・設置場所（出入口等に設置）
- ・撮影範囲（必要最小限とする）
- ・作動時間（原則 24 時間作動）
- ・盗難防止（記録装置は施錠可能な場所に設置）

管理責任者、操作担当者の責務

- ・管理責任者（校長を責任者とする。外部漏洩の防止、操作担当者の指名、操作者の制限）
- ・操作担当者（教頭又は教務主任とする。データの取扱い、実施内容の報告）

個人情報記録データの取扱い

- ・データの加工禁止
- ・データ保存期間（撮影時から 3 週間、保存期間経過後は上書きにより消去）
- ・記録媒体の廃棄（破碎等により確実にデータを廃棄）
- ・データ複製の禁止（原則禁止）

データの利用目的、閲覧等の制限

- ・利用目的（犯罪発生防止の検討、犯罪原因の検証、管理責任者が認めた場合）
- ・以下の場合には上記利用目的にかかわらず利用、他への貸与、閲覧、複製が可能
- ・学校敷地内での犯罪における犯人検挙のための捜査協力

施行日 令和元年 12 月 1 日

1 ふじえだロボットアカデミー ロボコン対策集中講座

「創造アイデアロボットコンテスト」に出場しました

- 科学に興味をもつ子どもを育成するため、「中学生創造ものづくり教育フェア」の「創造アイデアロボットコンテスト」部門へ出場に向けた「ロボコン対策集中講座」（全 12 回）を開催しております。（協力：静岡大学教育学部）

受講生の中から 19 チーム 22 人が県大会に出場し、活用部門で 3 チームが入賞しました。また、1 位の青島中・佐藤 友亮さんが技術賞、3 位の高洲中・杉本 春華さんがロボコン大賞を受賞しました。

入賞した 3 チームは東海北陸大会に出場し、1 チームが決勝トーナメントに進出しました。

ロボコン対策集中講座 令和元年6月～11月

受講生 市内中学 1～3年生 27人

1 ～親子で一緒に～ Pepper 1 day プログラミング講座を開催
します

●平成29年度から、ソフトバンクグループ(株)の「Pepper 社会貢献プログラムスクールチャレンジ」に参加し、市内全小中学校に人型ロボット「Pepper (ペッパー)」を配置し、プログラミング教育を行っています。各学校に導入した Pepper を活用し、学校でどのような授業を行っているかを保護者、地域に周知するとともに、地域に開放した学校づくりを目指して、1 day で親子一緒にプログラミングを体験する「Pepper 1 day プログラミング講座」を開催します。

講座概要

日時 第1回 2月1日(土)

第2回 2月8日(土)

第3回 2月15日(土) 全3回

会場 青島北小学校 多目的室

時間 午前9時～正午

対象 市内小学校3年生～6年生とその保護者

募集人数 15組30名 ※応募多数の場合は抽選

参加料 無料

内容 Pepper のプログラムソフト「Robo Blocks」を使い、オリジナルのプログラムを作成

講師 静岡産業大学 情報学部 教授 佐野 典秀氏、ゼミ学生(数名)

主席指導主事

1 令和2年度小中学校入学式等の日程について
別紙資料のとおり

生涯学習課長

1 人づくり講演会を開催します『目標達成へのプロセス』
●生涯を通じた学びによって自己実現を図り、様々な形でまちづくりに参画していただく「人づくり」を推進するため、生涯学習活動のきっかけとなる「人づくり講演会」を開催します。

講師 牧田 勝吾

(元プロ野球選手、現オリックス・バファローズ チーフスカウト)

日時 令和2年1月19日(日) 午後1時30分から3時00分

演題 『目標達成へのプロセス』

会場 藤枝市産学官連携推進センター (BiVi キャン)

定員 100人(申込順)

参加者には、牧田スカウトより球団グッズ、選手サイン入り色紙、BAND L 商品、久保田運動具店商品等をプレゼント。

特にスポーツ関係部員やその保護者、教員等に聴いていただくため、校長会を通して市内小中学校に参加案内チラシを配布済。

1 令和元年度藤枝市子ども会活動発表会を開催します

●当発表会は、子ども会の活動成果を情報発信することにより、子ども会活動の一層の充実強化に資するとともに、広く一般の市民に子ども会活動の持つ役割や意義についての理解と協力を求める機会とすることを目的とします。

日時 令和2年1月26日(日) 午前9時30分から正午

会場 藤枝市生涯学習センター ホール

主催 藤枝市子ども会世話人連絡会

後援 藤枝市教育委員会

内容 5つの子ども会が発表します

滝沢子ども会(瀬戸谷小)、八幡・鬼島・潮子ども会(広幡小)、藤枝中央小学校区 子ども会、谷稲葉子ども会(稲葉小)、朝比奈第一小学校区子ども会

教育長

その他報告はありませんか。ないようですので、これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

増田委員

医療的ケアについて、こういう子どもたちが学校に通っているということを知りませんでした。今までは学校の先生や親がフォローをしてきたということで、看護師等の配置を考えているとのことでしたが、看護師の配置は大変なのではと思っています。どういう形で看護師を選ぶのでしょうか。体調指導は時間的、日程的な問題が出てくると思うのでお聞きしたいです。

学校教育監

来年度、3名の医療的ケアの必要な子どもの就学が予定されています。来年度3名の子どもたちの医療ケアを専門の看護師にお願いしていくという方向で進めています。今のところ常時その学校に入っていて、必要なときに医療ケアを行っていただく予定です。ずっと医療ケアが必要というわけではなく、子どもによって、お昼に必要な子もいれば、お昼過ぎて必要な場合もあります。それ以外の時間につきましても、生活上の支援も必要だと思いますので、できるだけその子どもについてもらえるような配置を検討しています。

教育長

その他質疑はありませんか。

山田委員

看護師等の配置については親が一番安心だと思います。自分の子どものことなので、学校に行っている親も多いと思いますが、学校に看護師がいてくださると、親自身の負担も軽減され、心の余裕が生まれ、子どもにも良い影響を与えるので本当に素晴らしいことです。大変なことだと思いますが、ぜひよろしく願いますという気持ちが強いです。

防犯カメラの件ですが、データの保存期間が3週間になっていますが、これは法律や条令にある期間ということでしょうか。

教育政策課長

器械の性能によるのですが、今学校に整備している防犯カメラ装置は、基本的にデータは3週間前まで確認ができます。その後は上書きになるということで、特に何かに定められているということではありません。他の市町の基準を見ても2週間とあるので、3週間、1ヶ月に下さいという基準はありません。

山田委員

何か根拠があるのかなと思い聞かせていただきました。これに関して、防犯カメラがあるということはとても安心できることで、今の時代は必要だと思うのですが、そこから派生して、今、町にも防犯カメラが増えすぎて、プライバシーのことなどについて実際はデメリットがあったりもします。そのデータがどこかに流れてしまったりすることがないようにするための、今回の運用基準の作成だと思いますので、大丈夫だとは思いますが、カメラが増えて、いつも監視されていることのデメリットも、子どもたちに伝える必要があるのではないかと感じています。見ているから安心ということも確かにあるのですが、子どもたちはいずれ大きくなって、自分の身は自分で守らないといけないので、危険を回避したり、安全を自分で確保する必要があり、大人が見ていてくれるから大丈夫ではなく、記録が残ってしまうので、悪用することもできてしまうという怖い面もあるということをしちんと子どもに伝えることが大切だと思います。例えばSNSの問題などに繋げて、子どもたちの中にも残っていくようにすれば、また違った意味の教育的効果があるのではないかと感じました。

教育政策課長

参考になる意見をありがとうございます。学校としては、子どもたちを守るために、犯罪前の抑止として、また犯罪を犯した後の捜査に協力するために防犯カメラを設置しております。当然子どもたちにとって、自分の身を自分で守るということは大事だと私も思っています。特にSNSに関しては低年齢化していますし、ネットパトロールを行っておりますが、探しきれない部分もあります。学校でもやっておりますが、子どもに対しても、自分で自分の身を守るという教育も必要であると思っております。貴重なご意見ありがとうございます。

浅井委員

医療的ケアを必要とする子どもたちへの配慮を学校でしてくださっているので、多様な社会が学校の中で形成されて、共に育った子供たちが社会へ出たときに、人へ配慮できる共生的な社会になるのではと思い、期待できるなと思いました。

プログラミング教育やロボコンなどについてですが、議会の質疑応答の中にICTの話がありますが、藤枝市は先駆けて取り入れて情報活用の面でどんどん進めており、嬉しく思います。情報を検索して子供たちが発表するという授業を以前やっておりましたが、辞典や図鑑などは正しい情報としてありますが、ネットで検索するような情報は本当に正しいかどうかは分からないものが多いので、自分にとって都合がいいものだけ取り入れてしまうこともあるかと思えます。本当に正しいかどうか見極めて情報を読み解いていくための必要な力を育むための研究も進めていってもらえたらと思いました。

学校教育監

医療ケアにつきましては、教員は医療的行為ができませんでしたので、保護者の方に協力をいただいてやってきておりましたけれども、今回は保護者の負担軽減を図っております。

インクルーシブ教育というものを藤枝市は進めておりますが、医療ケアというものもその内の1つになりますが、まだまだ色々な支援が必要な子どもたちがいますので、できるだけその子供たちに応じた支援ができる体制づくりを今後も進めていきたいと思えます。

情報教育の重要性というものは今非常に高まってきていて、道徳の教科

書にも情報教育に係る教材がたくさん載っております。道徳の事業あるいは、学級活動あるいは技術科を中心とした授業の中で情報の扱い方の指導というものが今後必要となってくると思いますので、このことにつきましては色々な機会でお話をしていきたいと思っております。

浅井委員

できれば国語科の授業でも取り上げていただきたいと思っております。

学校教育監

情報についての内容は色々な教科に含まれておりますので、浅井委員がそうおっしゃっていたことをお伝えさせていただきます。

増田委員

防犯カメラについてですが、設置場所は出入り口ということで、学校には何カ所か出入り口があると思っておりますが、すべての所に防犯カメラを設置するというのでしょうか。

教育政策課長

防犯カメラの設置台数についてですが、高洲南小学校については、昨年3台設置しておりますが、その他の小中学校につきましては各校1台ずつ設置しております。出入り口というのは表門と裏門とあると思っておりますが、今後学校の要望等を聞きながらやっていきたいと思っております。またカメラを設置していますという看板を、正面や裏に設置しておりますが、それだけでも抑止になりますので、出入り口がいくつかあるところはその分必要かということにもなりますので、効果的に考えて設置を検討していきたいと思っております。

増田委員

最近では防犯カメラがついていても、犯罪が起こる場合があると思っておりますので、防犯カメラ以外のセンサーライトの設置など、その他の対策も考えていただけたらと思っております。

教育政策課長

犯罪者も防犯カメラに映っていても、平気で犯罪を起こすということもありますので、センサーライトみたいなものは効果的だと思います。しかし、学校施設は大きいものですから、どこにライトを設置するかということもあると思っておりますので、それも含めて今後研究して参りたいと思っております。

牧田委員

市議会の岡村議員の再質問に係ることについてですが、青島小中学校のようなマンモス校の小中一貫教育の進捗状況についてお聞きしたいです。

教育政策課長

青島東小学校の子どもが、青島中と青島北中へ通っているという大きな課題がありまして、そこをどういう風に考えていくかというところを検討しております。来年、青島につきましては地域に対して説明へ行くことを決めまして、まず東小学区の子どもたちをどういった形で小中一貫を進めていくかということを経験も交えながら地元の方と協議を来年早々に進めていく予定です。

教育長

その他質疑はありませんか。ないようですので、それでは以上で本日の全日程を終了しましたので、12月定例会を閉会いたします。

閉 会

午前11時30分